

生体試料収集・処理・保管状況 1 / 2 ページ

研究名	採血／採尿関連				分注関連						長期保存関連		記録関連		
	量	条件	採血／採尿管	本数	優先	分注項目	分注量	本数	分注前条件	分注条件	分注後条件	場所	長期保存条件	記録項目	
JPHC	10 ml (追加採血量)	原則空腹時 (各地域の実施基準に準ずる)	ヘパリン添加 (テルモ VT-100H/ 10 ml)	1	N.A.	血漿	1~1.5 ml	3	(冷) 暗所保存 12時間以内に遠心 分注は地域で行う	3,500~4,000回転 ×10分間遠心	地域にて一時保管 (-80℃)	中央	超低温DF (-80℃)	採血日 採血時刻 遠心分離時間 空腹時間 (最終飲食時間) 最終月経開始日 (閉経年齢)	
						パファイコート	1~1.5 ml	1							
JPHC-NEXT	特定検診採血	各地域の実施基準に準ずる	各地域の実施基準に準ずる	1	①	残血清	1 ml	1	各地域の実施基準に準ずる	各地域の実施基準に準ずる	地域にて一時保管 (-80℃)	中央・地域	超低温DF (-80℃)	採血日	
	7 ml (追加採血量)	原則空腹時 (各地域の実施基準に準ずる)	EDTA-2Na添加 (テルモ VP-NA070K/ 7 ml)	1	②	血漿	1 ml	3	(冷) 暗所保存 12時間以内に遠心 分注は地域で行う	3,500~4,000回転 ×10分間遠心	地域にて一時保管 (-80℃)	中央・地域	超低温DF (-80℃)	採血日 採血時刻 遠心分離時間 空腹時間 (最終飲食時間) 最終月経開始日 (閉経年齢)	
						パファイコート	1 ml	1							
					赤血球	1 ml	1								
	数10ml (採尿量)	スポット	添加物なし (数10 ml)	1	N.A.	尿	4 ml	1	4℃で保冷	N.A.	地域にて一時保管 (-80℃)	中央・地域	超低温DF (-80℃)	採尿日	
J-MICC	45 ml (最大採血量)	原則空腹時	EDTA-2Na添加 (テルモ VP-NA070K/ 7 ml)	1	①	パファイコート	300 μl	2	4℃で保冷 分注は委託検査機関でも可	2,500~3,000回転 (1,200G) ×10分 間遠心 (4℃を標準とし室温も可)	採取後24時間以内に (フオオミクス研究用には3時間以内) 冷凍保存	中央・地域で検体を 半数ずつ	超低温DF (-80℃) (東大ゲノム解析センター委託分は 気相式液体窒素タンク)	血液検体採取日 採血時刻 血漿 (血清) 凍結時刻 血漿 (血清) 処理時間 月経周期に関する情報	
			凝固促進用シカ微粒子 ／血清分離剤入り (BD 367976/ 7 ml)	1	②	血清	300 μl	8							室温で20~30分間放置後、 4℃で保冷
ToMMo	7 ml (追加採血*)	原則空腹時	EDTA-2Na添加 (テルモ VP-NA070K/ 7 ml)	1	①	血漿	0.7 ml	4	4℃で保冷	3500 rpm (2330g) 10分遠心 (ブレーキなし)	原則30時間以内の 処理・冷凍保存*	中央 (バックアップは 検計中)	超低温DF (-80℃)	検体採取日時 (一部検体*) 検体受入日時 遠心分離日時 分注量 (検体量により少量となる場合があるため) 分注日時 冷凍保存日時 コホート情報は別途収集	
	10 ml (追加採血*)		血清分離剤 (白ゲルタイプ) + 凝固促進フィルム (テルモ VP-AS109K50)	1	②	血清	0.7 ml	4	室温にて放置 (数十分) 後 4℃で保冷	3000 rpm (1700g) 10分遠心	原則12時間医内の 遠心、30時間以内の 冷凍保存*				
	5 ml (追加採血*)		ヘパリンナトリウム (テルモ VP-H050K)	1	③	単核球	保存液 0.5 ml	2	室温にて保管輸送	1500 g 20分または 1800g 30分 (翌日 処理の場合) 2回洗浄後、保存液 (セルバンカー) 懸濁	原則30時間以内の 処理・冷凍保存*				
約10 ml	早朝尿/スポット	ポリスチレンスピッツ (特定健診相乗り型は検査会社使用のもの)	1		尿	0.7 ml	3	4℃で保冷				超低温DF (-80℃)			
UK Biobank	45 ml (総採血量)	N.A.	EDTA 添加 (9 ml)	2	①	血漿	1 ml (?)	4	4℃で保冷 遠心は地域、分注は原則中央 処理施設で行う	2,500G × 10分間遠心 (4℃)	採取後24時間以内に 中央施設で冷凍保存	中央 1) 'Working' 超低温DF (-80℃) 2) 'Back-up' 気相式液体窒素 (-180℃)	DF: Liq-N2= 3: 1	凝固時間 (血清検体) 遠心時間 採取から処理までの温度 採取から処理までの時間 処理に使用された機器 処理に携わった担当者	
			リウムヘパリン/血漿分離剤入り (8 ml)	1	②	血漿	1 ml (?)	4							
			凝固促進用シカ微粒子 ／血清分離剤入り (8 ml)	1	③	血清	1 ml (?)	4							室温で25~30分間放置後、 4℃で保冷
			Acid citrate dextrose (6 ml)	1	⑤	全血	500 μl	2							18℃で保存
	EDTA 添加 (4 ml)	1	⑥	血算用	N.A.	N.A.	4℃で保冷 新鮮血のまま測定に使用	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.				
9 ml (採尿量)	スポット	添加物なし (9 ml)	1	N.A.	尿	1.5 ml (?)	6	4℃で保冷	N.A.	採取後24時間以内に 中央施設で冷凍	中央	DF: Liq-N2= 2: 1			

研究名	採血／採尿関連					分注関連						長期保存関連		記録関連	
	量	条件	採血／採尿管	本数	優先	分注項目	分注量	本数	分注前条件	分注条件	分注後条件	場所	長期保存条件	記録項目	
NHS I	血液 (第1回血液収集時:1989-90)	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.	血漿	4.5 ml	2	N.A.	2,000回転×20分間 遠心 (4°C)	N.A.	中央	気相式液体窒素	N.A.	
						白血球	1.8 ml	3							
						赤血球	1.8 ml	2							
NHS I	尿 (第2回血液収集:2000-01)	早朝初回	N.A.	N.A.	N.A.	尿	4.5 ml	4	N.A.	N.A.	N.A.				
						類粘膜 (追加収集:2002-04)	過去2回の血液収集での非提供者	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.		
						類粘膜	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.			
EPIC	14 ml (30 ml ?)	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.	血漿 パファイコート 赤血球 血清 straws™	500 μl (CBS 4 4 8)	12 4 4 8	N.A.	N.A.	中央・地域で検体を半数ずつ	液体窒素 (-196°C: CryoBio System)	N.A.		
MEC, biorepository subcohort (67, 594, 2001-06 / 215, 000, 1993-96)	40ml (総採血量)	空腹時(97%は10時間以上)	ヘパリン 添加 (7 ml)	2	N.A.	血漿	0.5 ml	10	N.A.	N.A.	直ちに冷凍保存	CRCH	気相式液体窒素 超低温DF (-80°C) 気相式液体窒素 超低温DF (-80°C) 気相式液体窒素 超低温DF (-80°C) 気相式液体窒素 超低温DF (-80°C)	採血日・採血時刻 最終飲食時間	
						血清分離剤なし (10 ml)	2	N.A.							血清
MEC, biorepository subcohort (67, 594, 2001-06 / 215, 000, 1993-96)	20ml (採尿量)	早朝尿 (LA)、夜間尿 (HI)	N.A.	1	N.A.	尿	2 ml	10	N.A.	N.A.	直ちに冷凍保存	CRCH	超低温DF (-80°C)	採尿日、時間	
KSCDC	10 ml (総採血量)	空腹時に限らない	EDTA 添加 (10 ml)	1	N.A.	血漿 パファイコート	N.A. N.A.	3 1	4°Cで保冷 採血日のうちに地域で処理	N.A.	N.A.	N.A.	液体窒素	N.A.	
RCCPS (~2009.1)	26ml (総採血量)	原則空腹時	EDTA-2Na 添加 (7 ml)	2	③	血漿	1 ml	4	4°Cで保冷	3,000G×10分間遠心	直ちに冷凍保存	予検センター内	超低温DF (-80°C)	採血日・採血時刻 最終飲食時間	
			EDTA-2K 添加 (3 ml)	1	④	パファイコート	1 ml	2							
RCCPS (2009.2~)	30ml (総採血量)	原則空腹時	血清分離剤入り (9 ml)	1	⑤	血清	1 ml	4	室温で20~30分間放置後、4°Cで保冷	3,000G×10分間遠心	直ちに冷凍保存	予検センター内	超低温DF (-80°C)	採血日・採血時刻 最終飲食時間	
			フッ化ソーダ添加 (2ml)	1	③										
			EDTA-2K 添加 (3ml)	1	②	検診用	室温で放置	直ちに測定	N.A.	N.A.	N.A.				
			血清分離剤入り (9 ml)	1	①										
			10ml (採尿量)	スポット	添加物なし (10 ml)	1	N.A.	尿	1 ml	3	4°Cで保冷	N.A.	直ちに冷凍保存	予検センター内	超低温DF (-80°C)

*特定健診相乗り型の場合、追加採血として実施、宮城県検体は採血日と同日午前・午後便にて到着(尿検体は3日後以降)、岩手県検体は採血日の翌朝に到着、LIMS登録・処理・保存される。採血日(午前・午後)は受け入れ日時から追跡できる三世帯・地域支援センター型調査は検査用と一緒に採血し、最終飲食時間、採血日時、搬送日時を紙ベースで保存する。検体受入後の日時情報は各処理段階ごとのバーコード読み取りによりLIMSに自動登録される。